

島根県立美術館 ニュース

NEWS vol. 101

SHIMANE
ART MUSEUM

25th

ANNIVERSARY



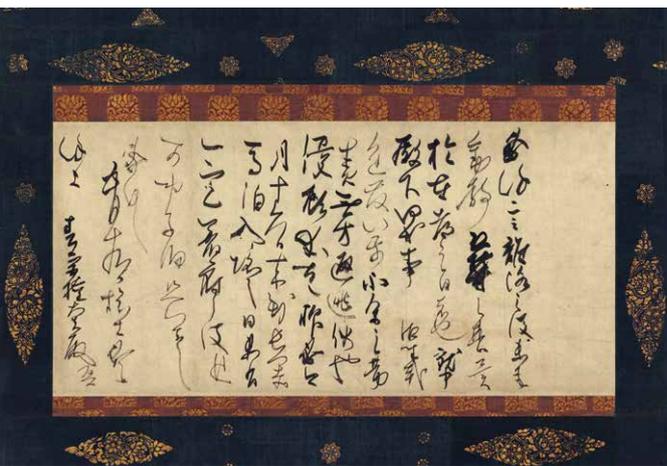
琳派の祖、
本阿弥光悦の名品

畠山記念館名品展

— 松平不昧ゆかりの逸品と琳派 —

戦国武将、大名茶人、

数寄者たちを魅了した名品の数々



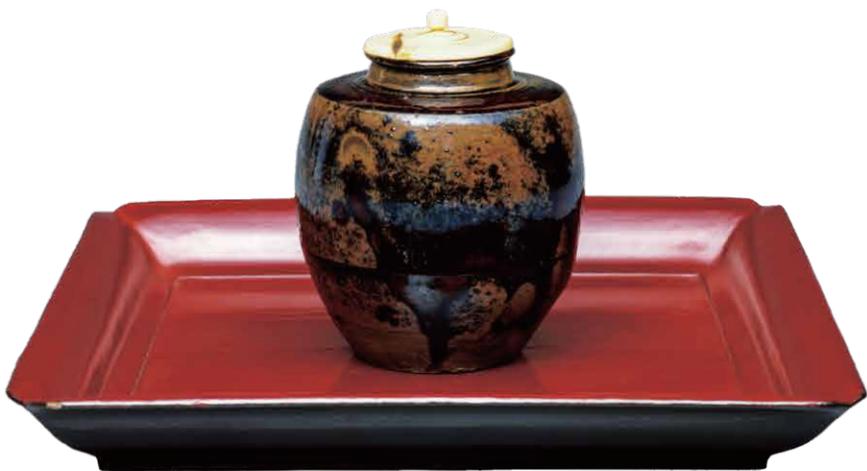
築かれた一大コレクション

東京港区・白金台にある畠山記念館は、畠山一清（1881-1971）が蒐集した茶道具、書画、陶磁、漆芸、能装束など、日本、中国、朝鮮の古美術品を所蔵する私立美術館で、昭和39年（1964）に開館しました。畠山一清は石川県金沢市の生まれ。ポンプの設計製作に取り組み、株式会社荏原製作所を創業し、実業界で活躍した人物です。事業のかたわら即翁と号して能楽と茶の湯を嗜む数寄者でもありました。蒐集は30代半ばに購入した、故郷石川県ゆかりの焼物である古九谷の大鉢から始

まります。その後50年、熱心に続きました。そのコレクションは、国宝6件、重要文化財33件を含む約1300件にも及びます。

不昧を尊敬して

とりわけ茶道具においては、松江藩松平家7代藩主松平治郷（号不昧）を尊敬し、不昧が所持した『雲州藏帳』記載の品を多く集めたことで知られます。《唐物肩衝茶入銘油屋》（重要文化財）がその代表でしょう。かつて秀吉が所持し、後に手にした不昧はこれを天下の宝物と定め格別の扱いを



重要文化財《唐物肩衝茶入銘油屋》中国・南宋～元時代

上／重要文化財 尾形光琳《薔蹄図》江戸時代【前期展示】 下／国宝 藤原佐理《羅洛帖》平安時代【後期展示】

関連企画

記念講演会

聴講無料

①「畠山即翁と『與衆愛玩』の想い」

講師 水田至摩子氏(畠山記念館 学芸課長)
日時 5月12日(日) 14:00～(13:30開場/約90分)
会場 ホール(190席・当日先着順)

②「近代数寄者が憧れた松平不昧蒐集の茶道具」

講師 降矢哲男氏(京都国立博物館 調査・国際連携室長)
日時 5月26日(日) 14:00～(13:30開場/約90分)
会場 ホール(190席・当日先着順)

ギャラリートーク

要企画展観覧料

講師 水田至摩子氏(畠山記念館 学芸課長)
日時 5月15日(水) 14:00～(約60分)
会場 企画展示室

スライドトーク

聴講無料

担当学芸員による展示解説
日時 4月27日(土)、6月1日(土)
各日14:00～(13:30開場/約60分)
会場 ホール(190席・当日先着順)

家族で参加 謎解きギャラリートーク

絵本とおでかけ企画展示室

▶詳しくはイベントページをご覧ください。

〈 関連小企画 〉

特集展示「松平不昧と茶の湯」

日時 4月10日(水)～5月20日(月) 会場 展示室3

2024年

4月19日(金)→6月10日(月)

〔前期〕5月13日まで 〔後期〕5月15日から

開館時間 10:00～日没後30分(展示室への入場は日没時刻まで)
休館日 火曜日(ただし4月30日は開館)

中四国の地で初めて開催される畠山記念館の展覧会です。株式会社荻原製作所の創業者であり数寄者でもあった畠山一清(号・即翁)が蒐集した、茶の湯と琳派の名品、加えて松平不昧ゆかりの品を紹介します。

〔観覧料〕

前売券(オンラインチケット・ローソンチケット)[企画展・コレクション展セット]
一般:1,100円、大学生:800円、小中高生:400円
当日券[企画展+コレクション展セット]
一般:1,450(1,160)円、大学生:1,100(880)円、小中高生:500(400)円
当日券[企画展のみ]
一般:1,300(1,040)円、大学生:1,000(800)円、小中高生:500(400)円

●2024年3月19日から販売。オンラインチケットはホームページより、ローソンチケットはローソン各店にてお求めになれます。(ローソンチケット/Lコード61824)●未就学児無料●()内は20名以上の団体料金●小中高生の学校教育活動での観覧は無料●身体障害者手帳(障害者手帳 アプリ:ミライID)、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、被爆者健康手帳をお持ちの方、及びその付添の方は1名まで無料

主催:島根県立美術館、公益財団法人荻原山記念文化財団 畠山記念館、
日本経済新聞社、TSKさんいん中央テレビ、山陰中央新報社、SPSしまねグループ
学術協力:京都国立博物館
後援:朝日新聞松江総局、毎日新聞松江支局、読売新聞松江支局、産経新聞社、中国新聞社、
新日本海新聞社、島根日日新聞社、NHK松江放送局、日本海テレビ、BSS山陰放送、
エフエム山陰、山陰ケーブルビジョン
特別後援:島根県茶道連盟、松江菓子協会、山陰茶商組合

作品は全て畠山記念館蔵



重要文化財 <井戸茶碗 銘 細川>朝鮮半島・朝鮮時代

充実した琳派コレクション

加えて見逃せないのが、琳派の作品です。本阿弥光悦書、俵屋宗達下絵の《小謡本》や、尾形光琳の《躑躅図》(重要文化財)【前期展示】など琳派を代表する作家の優れた作を

しました。参勤交代にも持参し、この茶人を入れた笈櫃が床に据えられるまで不味も着座しなかったと言われます。また、「天下三井戸」に数えられる《井戸茶碗 銘 細川》(重要文化財)や、平安時代の能書家で「三蹟」に挙げられる藤原佐理の書状《離洛帖》(国宝)【後期展示】などの不味愛蔵品も即翁は入手しました。



酒井抱一<四季花木園図風>江戸時代【前期展示】

多数集めています。桃山時代から江戸時代中期、後期に続く琳派の流れを系統的に網羅しました。その背景には大正期を黎明とする近代の琳派研究と、琳派作品を蒐集した先達の数寄者らへの思慕がありました。

即翁は半世紀かけて集めたこれらの品を独占するのではなく、多くの人と共に楽しむもうと畠山記念館を設立しました。本展は畠山記念館を代表する作品を一堂にご覧いただくまたとない機会です。国宝1件、重要文化財7件、重要美術品1件を含む約70件を、展示替えを行いながらご紹介いたします。

(主任学芸員 山本麻代)

コレクション展

観覧料

一般	300円
大学生	200円
高校生以下	無料

○ミュージアムパスポートをご使用いただけます。
○企画展と同日に観覧の場合は半額

大きな波の迫力の瞬間

展示室 1 水辺の展示室

第1期

4月24日[水] - 6月10日[月]



ギュスターヴ・クールベ《波》1869年

19世紀フランスの画家ギュスターヴ・クールベ（1819-1877）の描いた《波》。打ち寄せる大きな波の瞬間の姿を見事に捉えた作品です。50歳の年に描かれたもので、クールベはこの年から次の年にかけて、こうした嵐で荒れる海を力強い筆致で描写した作品を数多く制作しています。描かれた場所はフランス北西部ノルマンディー地方のイギリス海峡に面したエトルタの海岸です。この場所は断崖と砂浜の素晴らしい景観によって、リゾート地にもなっており、印象派のモネをはじめ多くの画家たちを引きつけました。自然の力強さを描いたこの作品には、自然から学び、現実を見たまに再現しようというクールベの意志が込められています。

当館のコレクションの中でも名品のひとつであるこの《波》は、「水辺の展示室」でモネの《アヴァルの門》（6月12日「水」から展示予定）とふたつ並べて展示しています。モネの作品は同じエトルタの海岸の様子を17年後に描いたものです。天気の様子や描き方の違いなどふたつの作品を見比べて、お楽しみください。

（専門学芸員 河野克彦）

展示室 3 小企画



土屋雲善《布志名焼 御本立鶴写茶碗》19世紀（江戸後期）個人蔵

特集展示

「松平不味と茶の湯」

4月10日[水] - 5月20日[月]

不味好みの茶道具とは？

畠山記念館を創設し数寄者であった畠山即翁は、「重文・油屋肩衝茶入（宝物、唐物・南宋時代）」や「天下の三井戸」といわれた「重文・井戸茶碗、銘細川（大名物、李朝時代）」など（雲州名物）と称される不味ゆかりの茶道具を多数所蔵したことで知られます。今回の名品展の開催に併せて不味の足跡を考える機会とします。

松平不味（1751-1818）は、松江藩松平家七代藩主で治郷といい、治政40年間には藩財政を立直し、その一方で18歳から石州流茶道を学び、生涯にわたって禅学に努め不味と号しました。さらに小堀遠州を慕い、定家流の書風を好み、大徳寺孤篷庵を再建するなど茶禅一味の茶の湯を行いました。江戸後期を代表する大名茶人であった不味は、名物茶器の収集だけでなく、『古今名物類聚』や『雲州蔵帳』『瀬戸陶器濫觴』などの茶道具の記録を著しています。

また不味が出雲地方にもたらした茶道文化の功績も大きく、本展では不味ゆかりの茶道具や関連資料などを通してその一端をご紹介します。

（館長 藤間 寛）

展示室 1 水辺の展示室

第1期

4月24日[水] - 6月10日[月]



クロード・モネ《アヴァルの門》1886年[第2期以降展示]

第2期

6月12日[水] - 7月29日[月]

当館の所蔵する「水を画題とする絵画」の名品を展示します。近世絵画・日本画は今年度、9期の展示、西洋絵画・洋画は通期展示(一部展示替えあり)の予定です。

展示室 1 西洋絵画 洋画

前年度

第3期 島根ゆかりの洋画家たち

1月17日[水] - 5月27日[月]

第1期 色と形の思索家たち

5月29日[水] - 9月23日[月・振休]

画家は色と形を用いて世界を、そして自己を表現します。人物、静物、風景などの具象画から抽象絵画まで、色や形に着目して当館コレクションをお楽しみください。



斎藤与里《朝》1954(昭和29)年

展示室 3 小企画

関連展示「松平不味と茶の湯」

4月10日[水] - 5月20日[月]



永原雲永《布志名焼 色絵秋草園茶碗》江戸時代後期

展示室 3 工芸

出雲の工芸

5月22日[水] - 7月8日[月]

出雲地方にゆかりのある工芸作品を、当館収蔵品から茶道具を中心にご紹介します。

明治以降の出雲焼

7月10日[水] - 11月18日[月]

展示室 4 写真

杉本博司

4月18日[木] - 7月15日[月・祝]

映画1本分の時間を封じ込めた空洞。その光に照らし出された劇場の装飾が、額縁となって浮かび上がります。数々の国際的な賞に輝く杉本博司の《ジオラマ》《劇場》《海景》を展観します。



杉本博司《U.A.、リヴォリ、ニューヨーク、1978(劇場)より》1978(昭和53)年

モダン・フォトグラフィ

7月18日[木] - 10月14日[月・祝]

展示室 1 近世絵画 日本画

第1期

4月24日[水] - 6月10日[月]

当館が所蔵する江戸時代の近世絵画、近代以降の日本画より、特に当館が誇る優品、島根県出身や来遊画家の作品など、島根ゆかりの美術を紹介します。



曾我二直庵《梅鷹図》(左隻)江戸時代初期

第2期

6月12日[水] - 7月29日[月]

展示室 2 北斎

北斎コレクション 第1期

4月24日[水] - 5月27日[月]

北斎コレクション 第2期

5月29日[水] - 7月1日[月]

北斎コレクション 第3期

7月3日[水] - 8月5日[月]

コレクション展示室2(「北斎展示室」)では、当館が誇る北斎コレクション・約1,600件の中から、北斎の錦絵・摺物・版本・肉筆画、約40点をいつでもご覧いただけます。



葛飾北斎《巨嶽三十六景 神奈川沖浪裏》(永田コレクション)天保初期(1830~34)頃 [第3期展示]

展示室 5 彫刻

彫刻の素材について

3月14日[木] - 6月3日[月]



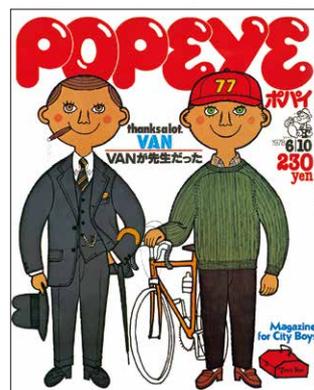
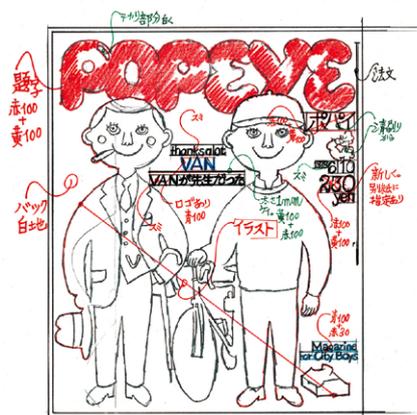
建島寛造《BALLOON 5 (LANDSCAPE)》1997(平成9)年

彫刻は素材が果たす役割が大きく、何をどのように用いて制作するかがそのありようを決定的に左右する表現形式であるといえます。素材とかたちについて着目します。

展示室 5 小企画

夏の自由研究 もじのデザイン

6月6日[木] - 9月9日[月]



新谷雅弘「『ポパイ』表紙レイアウト原稿」2023年(再制作)と「『ポパイ』1978年6月10日号表紙(イラストレーション:穂積和夫) ©マガジンハウス ©Hearst Holdings, Inc.

『アンアン』『ポパイ』のデザイン 新谷雅弘の仕事

デザイナー 新谷雅弘(島根県隠岐郡在住、1943-)は、堀内誠一(1932-1987)のアートディレクションによる革新的雑誌『アンアン』の創刊(1970)に参加以降、『ポパイ』『ブルータス』『オリーブ』(すべてマガジンハウス)においてアートディレクターをつとめました。本展では、「雑誌のデザインは編集部を描いた絵」「雑誌のレイアウトに課せられているのは人間くさい部分の表現」といった新谷独自のデザイン哲学を、70〜80年代を中心とする実際の誌面をとおしご覧いただきます。また、同時代に広く普及したイラストレーションの魅力もご紹介する予定です。

雑誌の世界をエディトリアルデザインという観点からお楽しみいただく展覧会です。

2024年
6月28日(金)→9月2日(月)

開館時間 10:00~18:30(展示室への入場は18:00まで)
休館日 火曜日(8月13日は開館)

関連企画

オープニングセレモニー **参加無料** **要事前申込**

日時 6月28日(金)9時40分~(受付9時15分/約20分)

会場 ロビー

特典 記念品(代表者のみ進呈)

▼申込方法は左記をご覧ください。

オープニング ギャラリートーク

要企画展観覧料

講師 新谷雅弘(デザイナー、本展監修者)

日時 6月28日(金)10時頃~(約45分)

会場 企画展示室

トークイベント

聴講無料

「POPEYEはどのように生まれたのか」

講師 石川次郎(編集者)

× 新谷雅弘(デザイナー、本展監修者)

日時 8月24日(土)14時~(約90分)

会場 ホール(190席/当日先着順/30分前開場)

現在進行形のカセットテープ概論

要企画展観覧料 **要事前申込**

講師 角田太郎(カセットテープ専門店waittzzオーナー)

日時 7月21日(日)14時~(約90分)

会場 講義室・企画展示室

▼詳しくはホームページをご覧ください。

オープニングセレモニー ご招待

参加無料 **要事前申込**

抽選で30名様を企画展「『アンアン』『ポパイ』のデザイン 新谷雅弘の仕事」オープニングセレモニーにご招待いたします。また当日抽選でテープカットにご参加いただけます。

日時 6月28日(金)9時40分~
(受付9時15分/約20分)

会場 ロビー

特典 記念品(代表者のみ進呈)

申込方法

ハガキまたはFAXに必要事項をお書きの上、下記申込先にお送りください。

①お名前(ふりがな)②郵便番号・住所③電話番号 以上必須事項 ④FAX番号⑤同伴者のお名前(ふりがな)1名まで可

申込先

[ハガキ] 〒690-0049 松江市袖師町1-5
島根県立美術館
「アンアン」「ポパイ」展
オープニングセレモニーご招待係
[FAX] 0852-55-4714

申込締切 6月12日(水)当日消印有効

○申込多数の場合は抽選となります。
○お客様の個人情報は、招待状の発送(郵送)以外には利用いたしません。
○当選者の発表は招待状の発送(6月17日頃)をもってかえさせていただきます。
(電話などでの個別のお問合せはできません。)

島根県立美術館× 島根県立石見美術館

ふたつ見て、もらおう。 **要企画展観覧料**

本展と島根県立石見美術館「堀内誠一 絵の世界」(7月6日~9月2日)の両方をご覧の方に展覧会グッズをプレゼント。企画展入口でスタンプカードを配布します。

※プレゼントがなくなり次第終了

関連小企画

夏の自由研究
もじのデザイン

日時 6月6日(木)

9月9日(月)

会場 展示室5

Event イベント情報

◎「島山記念館名品展」関連

〈美術館キネマ〉「日日是好日」鑑賞無料

(2018年/日本/100分/BD上映)

日時 5月18日(土)①10:30～②14:00～(各回30分前開場)

会場 ホール(190席/当日先着順)

エッセイストの森下典子が約25年にわたり通った茶道教室での日々をつづった人気エッセイ「日日是好日『お茶』が教えてくれた15のしあわせ」を映画化。



©2018「日日是好日」製作委員会



松江市内にある不昧ゆかりの施設を巡り、スタンプを集めてプレゼントをもらおう。

松江城・松江歴史館・島根県立美術館スタンプラリー

■スタンプラリー期間

4月19日(金)～6月10日(月)

■スタンプラリーカード配布・スタンプ押印場所

松江城(興雲閣)・松江歴史館(受付前)・島根県立美術館(企画展受付・島山記念館名品展観覧の方)

■プレゼント引換期間・場所

4月19日(金)～6月17日(月) 島根県立美術館(企画展受付)

※休館日は美術館・中央管理室にて引換え
※プレゼントは予告なく変更する場合があります。

さらに松江歴史館では、スタンプラリー参加の方が展示をご観覧いただくと「オリジナルポストカード」をプレゼント!(先着200名様)



オリジナル
グッズ
プレゼント

オリジナルグッズ
※画像はイメージです

家族で参加 謎解きギャラリートーク

要企画展観覧料 ※小中学生は観覧料無料

日時 4月28日(日)、29日(月・祝)、
5月5日(日・祝)、6日(月・振替)、11日(土)
各日10:30～(約45分)

対象 小中学生とその家族

会場 企画展示室

絵本とおでかけ企画展示室 要企画展観覧料

※「しまね家庭の日」家族で来館した高校生以下は観覧料無料

日時 5月19日(日)10:30～(約60分)

対象 小学生とその家族(当日先着約20名)

会場 キッズライブラリー、企画展示室

集合 キッズライブラリー

こどもといっしょの鑑賞優先時間

かぞくの時間



「絵本とおでかけ展示室」

絵本のお話を聞いて、お話をヒントに作品鑑賞のお散歩に出かけます。

日時 6月・7月 第3木曜日
(6月20日、7月18日)
各日10:30～(約40分)

会場 キッズライブラリー、コレクション展示室

集合 キッズライブラリー(先着20名程度)

料金 コレクション展観覧料 一般300円、大学生200円、小中高生無料

※こころカード(アプリ)提示でお子様と来館の方4名までコレクション展観覧無料



毎日午前は「かぞくの時間」(10:00～12:00)

子どもたちにとって美術の楽しさ、芸術の喜びを分かちあえる場所となるよう、毎日午前中「かぞくの時間」を実施します。美術館でゆたかなひとときをお過ごしください。

Gallery ギャラリー展示のご案内

会期	展覧会名	内容	問合せ先
5月9日(木) - 5月13日(月)	開眼師範会書展	全室 開眼師範会会員の新作書作品の展示。	河瀬 090-8240-6952
5月17日(金) - 5月20日(月)	第17回 しまね写真展	2・3室 島根県を中心とした写真愛好家のための写真公募展。	川上 090-2801-5253
5月22日(水) - 5月27日(日)	第6回 丹青会日本画展	1室 日展、日春展入選作品を含む、丹青会員11名による日本画展。	福間 0853-72-8026
5月29日(水) - 6月2日(日)	第27回 島根日本画協会展	1室 島根日本画協会会員による日本画作品展。	広田 090-1188-5753
6月9日(日) - 6月16日(日) <small>※6月11日(火)は休館日</small>	第132回 島根洋画展	全室 島根洋画会の会員・準会員の作品と、県内から一般公募した作品の絵画展。	森井 090-2000-4717
6月21日(金) - 6月24日(月)	第39回 島根書道協会展	全室 県内全域から幅広く募集し出品された作品と協会構成員の作品を併せて展示。	植田 0852-26-6498
7月3日(水) - 7月8日(日)	空想の森 さんかく美術館絵画教室展覧会	1室 想像と創作をモットーに大人から子どもまで個性光る生徒と講師による絵画・版画・立体作品の展覧会。	足立 090-4895-7152
7月3日(水) - 7月8日(日)	佛絵師 荒木 Juro 香珠 展 ～文様が彩るオーセンティックな世界へ～	2室 山陰で活動する佛絵師 荒木Juro香珠が描く仏画作品を一堂に集めて展示する。	有料 柳田 090-8240-5479
7月10日(水) - 7月15日(日)	90回記念 東光展巡回島根展	全室 令和6年4月に東京都美術館で開催される90回東光展(油彩、水彩、版画)の全国巡回作品と地元出品作の展示。	有料 北本 0853-22-7187
7月17日(水) - 7月22日(日)	第63回 島根新協展	1室 島根新協美術会会員による油彩、アクリル、水彩画の作品展。	小山 090-4699-1891
7月24日(水) - 7月29日(日)	第44回 山陰二紀展	1室 二紀会山陰支部員を中心に絵画、彫刻作品を展示する。	田中 090-4693-9139

○開室時間は通常10:00～18:00です。ただし、最終日は撤収のため閉室時刻が早まる場合があります。○観覧料は記載のない場合は無料です。有料の場合、ミュージアムパスポートはご使用いただけません。○ギャラリーは一般の方に貸し出しているスペースです。展示利用をご検討の方は、美術館ギャラリー担当までご連絡ください。



湖畔のレストラン「RACINE」

松江アフタヌーン ティーセット

事前予約が必要となります

島山記念館名品展では松平不昧公ゆかりの逸品が展示中ということでお茶どころ松江のお抹茶などを楽しんでいただけるアフタヌーンティーセットをご用意いたしました。企画展鑑賞後の豊かな気持ちのままゆったりとアフタヌーンティーはいかがでしょうか。

[期間]～6月10日(月) [提供時間]11:00～

・松江アフタヌーンティーセット……4,000円(税込)ドリンク付き



- 営業時間 10:00～18:00 (美術館開館時間に準じます) ■レストラン電話 0852-25-6562
- ※状況により閉店時刻が早まる場合があります。
- ランチ [11:00～15:00] ■ディナー [17:00～] ※完全予約制

FREE

4月27日～5月12日は、
小中学生の方は企画展「島山記念館名品展」・
コレクション展を無料でご覧いただけます。

年間パスポートのご案内

当館主催の企画展、コレクション展を何度でもご覧いただけるほか、下記の6つの特典があります。ご利用の際は、各展示室受付でパスポートを提示してください。プレゼントとしても購入いただけます。

※ギャラリー(貸出施設)は主催者が異なるため別料金となります。

【会員特典】

企画展・コレクション展を何度でも
ご鑑賞いただけます。(購入日より1年間)

1 企画展観覧料 半額
(同伴者2名様まで)

2 ミュージアムショップでの
お買い物 **5%OFF**

3 「美術館ニュース」や各展覧会のチラシをお届け(年4回)

4 提携施設を割引料金でご利用いただけます。

足立美術館、植田正治写真美術館、愛媛県美術館、尾道市立美術館、サントリー美術館、島根県立石見美術館、島根県立古代出雲歴史博物館、とっとり花回廊、広島県立美術館、ひろしま美術館、広島市現代美術館、水木しげる記念館、DIC川村記念美術館、山口県立美術館、山口県立萩美術館・浦上記念館

5 レストランで
ソフトクリーム200円

6 来館ポイント5つで
ワンドリンクサービス

年会費 一般3,000円 大学生1,800円 小中高生900円
購入は美術館総合受付(パスポート窓口)までお越しください。

有効期限内に継続購入された場合、無料観覧券を1枚進呈いたします。

最新の情報は美術館ホームページ、SNSでお知らせします。

ミュージアムショップ

Museum Shop

島山記念館名品展関連グッズを販売

ミュージアムショップでは「島山記念館名品展」開催に合わせて、公式展覧会図録(1,800円税込)のほかに、島山記念館および琳派に関連した展覧会グッズを販売しています。商品を店頭でぜひご覧ください。

オンラインショップ <https://www.sam-museumshop.shop/>



鳥根県立美術館メールマガジンEニュース

配信をご希望の方は件名に「メールマガジン配信希望」と記載の上、美術館ホームページのお問い合わせフォームよりお申込みください。



鳥根県立美術館



〒690-0049 鳥根県松江市袖師町1-5
TEL0852-55-4700 FAX0852-55-4714
<https://www.shimane-art-museum.jp>